

投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 上野 勉 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	---------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	約3.52億円
		通常砂防事業 おおか 大河川		内用地補償費	約0.25億円

所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
氷上郡 山南町 おおか 大河			17年度	17年度	22年度

事業目的	事業内容
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、流域の荒廃が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産及びJR福知山線、災害時の指定避難所である大河公民館を保全する。	・砂防えん堤工 2基 (H = 12.0m, L = 61.0m) (H = 11.0m, L = 88.0m) 〔負担割合 国：1/2、県：1/2〕

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・大河川は土石流危険渓流である。 ・渓流の浸食が進むなど流域内も広範囲に荒廃しているが、砂防設備は未整備である。 ・平成11年9月6～8日の豪雨により下流の民家に一部土砂が流出するなどの被害が生じており、今後も土砂流出の危険性は高い。 ・保全対象：人家 = 21戸、公共施設 = JR福知山線、町道、大河公民館(避難所) 田畑 = 3.07ha
地域の活性化	・砂防えん堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、JR福知山線を保全することにより、地域間の交流に一層寄与する。
快適性・ゆとり	・えん堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。
その他	・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。
(2)有効性・効率性 有効性	・人命・財産(人家21戸)、JR福知山線、町道及び災害時の指定避難所である大河公民館が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。
効率性	・町等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・土石流の想定被害区域には人家21戸、JR福知山線、町道及び災害時の指定避難所である大河公民館がある。 ・流域状況は、平成11年9月6～8日の豪雨により荒廃が進み、今後も土砂流出の危険性が高く、大河地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。